

# 1年生『命の講話』

7月3日（金）、1年生「家庭基礎」の授業の一環として、南島原市で助産師として活躍されている中村まり子先生から『命の講話』と題して講話をしていただきました。生きる上で大切なことや性のあり方を学び、命の尊さや思いやりの心の大切さについて改めて考え、将来親となるものとしての意識などを高めることができました。



## 【生徒の感想より抜粋】

命が誕生するためには、たくさんの支えや頑張りがあることがわかりました。無事に生まれたことはものすごい確率だと感じました。だから、家族や周りの支えてくれる友人や人々にはきちんと感謝し、大切にしたいと思います。

全て「YES」と言っていたら、自分が苦しくなりいつか限界がくるので、自己決定をしっかり持つことが大切だとわかりました。「性の自立」を理解し、自分の命だけでなく、相手の命も大切に、生きていることに感謝して過ごしたいです。

「命」に関するお話の中で、生きるために大切なことが3つ紹介されていて、アイタッチング・やさしいタッチング・食育と確かにどれも大切なことだと感じます。相手に対していやなタッチングをしないようにしたいです。改めて「命」の大切さ、尊さを学習できてよかったです。